

人のチカラと企業のチカラで未来へとつなげる。
佐伯市発の働く人々をご紹介します

未来をつなぐ、人と企業

Vol.
30



ファームテック株式会社

佐伯市弥生大字大坂本1674番地1

☎46-1600 FAX:46-1807

設立年月:平成18年4月 資本金:1,000万円 従業員数:6人

<https://www.farm-tech.co.jp> メール: farmtec@saiki.tv



動画はこちら



佐伯発! 農業の課題に応える注目の資材

ファームテックは「第三の農業資材」と呼ばれる植物活性剤(バイオスティミュラント)※1の開発・製造・販売を行う企業です。肥料が“ご飯”、農薬が“薬”だとすれば、活性剤は“健康食品”のような存在。作物に酷暑などの異常気象を乗り切る活力を与え、成長・品質・味・収量の向上に貢献します。

「私たちは創業直後から国立大学法人大分大学と共同研究を行い、サトウキビ残渣※2の糖蜜を1年間発酵させた自然由来の『アミノ酢糖』、改良品の『ルビスク』を完成させました。長年の知見に加え、大学の研究データ、実証結果の蓄積が強みです。有機JAS規格別表等適合資材※3のため、有機農法にも活用できます」そう語るのは代表の大田一郎さん。すでに全国各地で導入され、農業課題の解決、環境負荷低減に成果を上げています。

全国、世界を視野に挑戦を続ける

米不足で関心が高まる「米の直播栽培」でも同社の製品が活用され始めています。「直播栽培は田植えをせず、ドローンで種もみを直接水田に播く方法ですが、人手不足解消に効果的な一方、生育の不安定さが課題。そこで苗の発根や成長をサポートする当社の製品が注目されています」。

製品開発にとどまらず、若手農業従事者を集めてミーティングを開くなど、農業の未来や佐伯の活性化、佐伯に息づく豊かなものづくり文化の継承を応援する大田さん。発酵王国・佐伯から全国、世界により良い製品を届けるために、挑戦を続けます。

※1 令和7年5月、農林水産省が表示に係るガイドラインを策定。

※2 砂糖の製造過程で出る搾りかす。

※3 適合していない製品もあります。

会社のここが好き

入社のきっかけは、農業をしていた際に弊社製品と出会い、その効果を実感したことです。現在は営業として農家さんに製品の良さを伝え、“自分と同じ効果を実感してもらい、喜んでもらえること”をやりがいとしています。今後もより多くの皆さんに弊社製品を広めたいと考えています。ぜひ一度、農作物が元気になる効果を実感してください。

営業課長
田中康彦さん

